

## 謝 辞

萩原金美

先生には長時間私どもが平常は聞き得ないような貴重なお話しをしていただき、大へんありがとうございます。皆さんといっしょに心から厚く感謝申し上げます。先生は現在すでに八〇歳というお年なのに実に最新の文献まで目を通されて、孜孜として学問にご精進していらっしゃるということが皆さんにもよくおわかりになったことと存じます。私自身も、黒田先生のご学問が私どもの想像を絶するような広大な学識に支えられているということを変更して感じたわけでございます。また、これは次元の低い話でございますけれども、フランスの初期の王様にはあまり権力がなかったということがございますが、そうするとそれはあたかも現在の日本の多くの大学の学長あるいは理事長に等しいのではないかと思ひまして、先生が多分学長代行あるいは理事長の頃もそんな感慨をときにもたれながら困難な仕事に取り組まれたのではないかと連想したりしました。(笑い)

きょうはどうもありがとうございます。先生のご退場を重ねて盛大な拍手をもってお送りいたしたいと思ひます。  
(長い拍手)